

No. 1572

# タイソン34連勝

—東京ドーム—

世界ヘビー級タイトル・マッチ12回戦が3月21日東京ドームで行なわれました。

第1ラウンドは身長、リーチに優る挑戦者トニー・タプスが打ち合いに出てチャンピオンのマイク・タイソンと互格の斗い。

しかし第2ラウンドに入るとタイソンの力強い左右の強打が決まり出し、最後は左フックで2分54秒タプスをKO。

タイソンは初の国外での試合で34連勝目を飾り6億5千万円のファイト・マネーを獲得しました。

# 海峡に哀歡の幕

—青函トンネル開業—

青函連絡船が廃止される日が近づくにつれて、定員一杯の乗客を乗せた連絡船の出航風景のつづく青森港。

本州と北海道をつなげて来た青函連絡船が3月13日青函トンネルを経由する津軽海峡線にその座を明け渡す。

後部デッキに人があふれば、客室も観光客の団体で混み合い、海峡ラーメンの食堂も大にぎわいです。

四時間の船旅の良さを懐かしみ、名残りを惜しむ乗客を乗せて函館港に入港。おつかれさまの横断幕の出迎えが別れの寂しさを深めています。

昭和63年3月13日青函トンネル開業の日。

青森駅ホームで函館行快速「海峡1号」の出発式が行なわれ午前7時31分満員の鉄道ファンを乗せて発車しました。

青函トンネルは津軽海峡の海底で本州と北海道をつなぎ世界最長の53.5キロ、着工以来約6900億円の巨費と24年の歳月をかけて完成したものです。

海峡号は1日8往復、青森・函館間を2時間で走り抜けます。

北海道の玄関口となる函館は本州の観光客を増やそうと張り切っています。観光地の再点検や大規模なホテル建設など新しい街づくりに懸命です。

13日午後5時13分函館港を出る最終便の連絡線「羊蹄丸」。

80年にわたり延べ1億6千万人を運んだ青函連絡船の歴史の幕を閉じたのです。

同時刻、上野・札幌間を16時間で結ぶ「走るホテル」といわれる寝台特急「北斗星号」の出発式が上野駅で行なわれました。

青函トンネル開業が日本列島をレールで直結する交通新時代のスタートになったといえそうです。